

## ～下記の研究を行います～

## 『薬剤師によるバンコマイシン維持投与量設計の効果』

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】 薬剤師によるバンコマイシン維持投与量設計の効果

【研究責任者】 坂倉 広大

【研究の目的】 バンコマイシン(VCM)を適正に使用するために、血中濃度モニタリング(TDM)が推奨されている。初回投与設計に薬剤師が携わることで、至適濃度域への初回血中濃度到達率が向上することが多数報告されている。しかし、初回血中濃度判明後の維持投与量設計においても薬剤師が携わることで同様の効果が認められるか検討した報告は限られている。今回、その効果を明らかにするため、後方視的に検討を行う。

【研究の期間】 研究許可日～2019年3月31日

【研究の方法】 当院のみのデータを用いて行う後ろ向き観察研究

●対象となる患者さん

2014年4月から2019年3月までに、当院で治療目的にVCMを使用した患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

①患者基本情報：性別、年齢、体重、身長、臨床検査値（血清クレアチニン値、アルブミン値、血小板値）、尿量、クレアチニンクリアランス（Cockcroft-Gault式による推定値）、eGFR（日本人のeGFR式による推定値）、動脈血酸素分圧（PaO<sub>2</sub>）、吸入気酸素割合（FiO<sub>2</sub>）、Glasgow Come Scale、集中治療病棟への入室有無、VCM投与期間中の併用薬剤、既往歴VCMの血中濃度、投与量、投与間隔。

②疾患情報：感染症、感染菌種

【研究の資金源】

特にありません。

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反はありません。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター 薬剤部  
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14  
TEL (06) 6942-1331 (代)  
研究責任者 薬剤部 薬剤師 坂倉 広大